
CHaNgE

杏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

C H a N g e

【Nコード】

N 4 1 7 5 Q

【作者名】

杏

【あらすじ】

高2の冬

自分を変えたかった俺。俺の日常を変える彼女との出会いの物語。

1、変わりたくて…（前書き）

初めての投稿です。

読んでくれたら嬉しいです。

1、 変わりたくて…

俺の名前は大和 恋

やまとなんてザ男ってカンジな苗字に恋^{れん}なんて女々しい名前つける
なんて…

親のセンスに悲しくなる…

俺はこんな名前が嫌いだ
そしてこんな自分も嫌いだ

俺は幼いころから周りの人々に「かわいい」と言われて育った
でも俺はそんな自分が嫌で… 変わりたくて… でも変われなくて…

そして俺は変わらないまま高校2年になった…

今日は12月20日

朝か

って寝てる場合じゃねええええ!!

遅刻だ！ヤバい！マジで！

俺は東京のまあまあ頭いい私立高校に通うために実家をでて1人暮らしをしている

って解説してる場合じゃねえっ！

俺は学校の支度をしてアパートのドアを飛び出して駅に向かってダッシュした

駅まであと100mくらい

この橋を越えればもうすぐ　ドン！

「うわっ」

人にぶつかっちゃった

謝らないと

「すみマセンでした」

「大丈夫ですか？」

俺がそう言ったと同時に胸ぐらを掴まれた

「大丈夫なわけねえだろうが！」

「こりゃあ慰謝料払ってもらわねえとなあ！」

うわっ！

ついてねーな

ヤンキーの集団に絡まれちゃったよ

俺は謝まったけど河川敷に連れて行かれてしまった…

学校も遅刻だしヤンキーに絡まれるし…それもこれもこの女の子みたいな顔のせいだよ

「てめえ聞いてんのか!」

「金だせよコラア!」

誰か助けてくれ…るわけないか

俺は体を押さえつけられてしまった

「すみませんでした」

何度言っても無駄だった

「金だせって言ってんだろがぁ!!!」

殴られるっ!

目をつぶった

痛くない?

目を開けるとヤンキーはみんな倒れていて

そこには髪が長くて肌の白い綺麗な少女が立っていた
高校生かな? スッゴいかわいいな

「あの…大丈夫ですか?」彼女が聞いてきた

「あっ はい! ありがとうございます」

「いえ」

「困っている人みると助けずにはいられないんです。」

「じゃあ急いでいるんで」

そう言っていると彼女は橋のほうへ走って行く
俺はぼーっとしていた

っってお礼くらいしないと

俺は全力で彼女を追いかけた
そして橋の真ん中で呼び止めた

「待って！」

「お礼したいから電話番号教えてよ」
そう叫んだ

人前でこんなに叫んだのは久しぶりだろう？

彼女は走って来て白いケータイを取り出して

「ケータイ出して？」

「赤外線で」

そう言っただけ連絡先を交換して走り去ってしまった…

彼女に会って俺の中になにかが変わった気がした

そんな高校2年の冬だった。

1、変わりたくて…（後書き）

読んでいただきありがとうございます。

コメントくれたら嬉しいです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4175q/>

CHaNgE

2011年1月28日00時57分発行